

# 第4期「食品の安全に関する推進プラン」の 平成26年度の実施状況と評価及び3か年の達成度 (生産者・事業者・消費者)

広島県では、食品の安全・安心確保対策に関する施策の方向性を定めた「広島県食品の安全に関する基本方針」（平成15年3月策定）に基づき、行政、生産者、事業者、消費者が取り組む具体的な対策と推進目標である第4期「食品の安全に関する推進プラン（平成24～26年度）」を策定し、関係者の連携の下、実行に努めています。

この度は、第4期「食品の安全に関する推進プラン（平成24～26年度）」に掲げる行政施策に関して、平成26年度の実施状況とをとりまとめました。

## 平成26年度目標に対する達成度

- 生産者、事業者及び消費者が平成26年度に取り組んだ26項目のうち評価不能の2項目を除く、24項目について達成度※をまとめました。その結果、24項目（100%）が、「概ね達成」以上でした。
- また、この3か年の達成度は平均して100%となっており、行政の取り組みは、概ね目標達成できました。
- 引続き、関係者が連携して、平成27年3月に策定した「食品の安全に関する基本方針及び推進プラン（平成27～31年度）」の着実な実行に取り組んでいきます。

※ 実績が数値目標の80～99%を「概ね達成」、100%以上を「達成」としました。また、数値目標がない項目については、担当課が評価しました。

## 行政施策の取組みの平成26年度目標に対する達成度

項目	全取組数		評価対象取組数					(備考) 3か年の 達成度
		評価不能 な項目	達成	概ね達成	未達成	概ね達成 以上の割合		
I 生産者の取組	18	2	16	5	11	0	100%	100%
II 事業者の取組	7	-	7	1	6	0	100%	100%
III 消費者の取組	1	-	1	1	0	0	100%	100%
計	26	-	24	7	17	0	100%	100%

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関	
		実績	達成率	達成度		特記事項
1	トレーサビリティシステムの導入及び生産履歴記帳の推進					
	①トレーサビリティシステムの導入推進				《総括》	
	01_牛肉 ○トレーサビリティシステムの継続〔和牛・交雑牛システム〕	・導入済み		達成	定着化している	全農広島県本部
	02_豚肉 ○豚肉トレーサビリティシステムの継続	・導入済み		達成	定着化している	全農広島県本部
	03_鶏卵 ○鶏卵トレーサビリティシステムの継続	・導入済み		達成	定着化している	全農広島県本部
	04_米 ○JA並びに精米工場の体制整備に合わせ、対象品種を順次拡大	・量販店向けの精米商品の一部でトレース可能な商品を展開中 ・広島米品種を使用した「JAの選りすぐり米」「JAの結び米」商品を展開中		概ね達成	・結び米の取組みにつき、HPにて情報公開している	全農広島県本部
	05_野菜 ○主要品目についてトレーサビリティシステムの導入検討	・個別選別の場合は、出荷用段ボール等に生産者番号等を記載して、トレースが可能		概ね達成	・共同選別によるものは、生産者の特定は困難	全農広島県本部
	06_かき(牡蠣) ○トレーサビリティシステムの継続	・生産履歴が明らかになるようシステムを継続した。		達成	・HPアクセス件数 169件	県漁連
	②生産履歴の推進					
	09_米 ○JA米の取組の継続	・全農委託米穀について、26年産米につき約99%がJA米(備蓄米・加工用米・規格外米)		概ね達成	・記帳と回収は行っているが、確認点数が多く検証に時間がかかる	全農広島県本部
	10_野菜 ○販売目的の全ての品目における取組の実施	・JA担当者および生産者に対する研修会を実施し、共同販売を中心に浸透している。		概ね達成	・JA担当者および生産者に対する研修会を実施し、共同販売を中心に浸透している。	全農広島県本部
	③GAP手法の導入・実践					
	11_GAP手法の導入 ○産地・作物別にGAP手法を導入・実践 ※関係機関と調整中	・JGAP指導員基礎研修会を開催し、7JATI名の参加があった。		概ね達成		全農広島県本部
2	地産地消、食農教育の推進					
	12_地産地消の推進 ○ひろしま地産地消推進協議会において、消費者と生産者の相互理解を深める地産地消を推進する ・県産農林水産物のファン作り ・地産地消を推進し、消費者に安心できる農林水産物の提供を図るとともに、県内産農林水産物の消費拡大を図る	・県産農産物や食の安全・安心に対する理解促進を図るため、学校栄養職員等を対象にした地元農産物の供給事例学習会を県内2カ所で開催。 ・県内農林水産物のファン作りとして、ホームページを活用し、ファンクラブの設置やマーク応募キャンペーンを実施。		概ね達成	ホームページ閲覧数：16269回/年 SNS (Facebook、LINE、twitter) 活用	JA中央会
	13_県内農林水産物及び地域食材利用の普及啓発 ○地産地消を推進し、消費者に安心できる農林水産物の提供を図るとともに、県内産農林水産物の消費拡大を図る ・各市町教育委員会とJAとの連携による食育推進	・「安心! 広島ブランド」認証マークの応募キャンペーンや販売促進の実施(小売業者との連携) ・企業給食等へ県内農林水産物の供給するためのサンプル提供を実施。		概ね達成	キャンペーン参加店舗：174店舗 キャンペーン応募総数：9013通 サンプル提供社：約30社	JA中央会
	14_食農教育ビジョンに基づく食農教育の推進 ○体験学習や学校給食への地域食材の活用の支援を通じ、食農教育の取組を推進する	・食農教育担当者の養成研修およびフォローアップ研修を実施し、食農教育活動への理解促進と展開を支援した。		概ね達成	食農教育担当者(JA食農プランナー)：のべ101名を養成。	JA中央会

【生産者の役割】

16項目

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関	
		実績	達成率	達成度		特記事項
3	<b>農薬の適正使用の取組</b> <b>15 農薬の適正使用等</b> ○農薬の適正管理、適正使用の推進（研修会・講習会の継続実施） ○残留農薬の自主検査の実施拡大（米、アスパラガス等） ○不用農薬の適正処理	・JA担当者に対する研修会を毎年2～3回実施しており、加えて生産者部会等から要請があれば、随時研修会を実施している。 ・米：品種、栽培形態別に抽出検査実施 26年産実績：55件（25年度実績：55件） ・アスパラ：全農施設の共同選果場では実施 ・各JAで、年2～3回定期的に回収活動を実施している。		概ね達成 達成 概ね達成 達成	取引先から検査要請のある米も対象としている。 ・野菜で、JAでの取組では検査頻度の差がある。	《総括》 全農広島県本部 全農広島県本部 全農広島県本部
4	<b>流通飼料の履歴追跡システムの運営（酪農）</b> <b>16 流通飼料供給データベース</b> ○単年度流通飼料供給データの蓄積 ○流通飼料履歴追跡システム運用	・毎年度のデータ蓄積中 ・製造ロットによる履歴追跡システム		概ね達成 概ね達成 概ね達成	流通飼料供給のトレース可能 流通飼料履歴追跡運用	《総括》 広酪 広酪
5	<b>安全・安心な生乳の生産と供給、信頼の確保</b> <b>17 生乳の生産・供給段階における安全性を確保するための総合的な品質管理体制の構築</b> ○衛生的な生乳生産及び安全な生乳の供給を目的として、HACCPの考え方に基づく生乳生産の飼養・衛生に関する管理基準に沿った生乳生産を実施する ○より実践的な「重点管理基準」を設定した生乳生産管理チェックシートへの記録・保管を実践する ○チェックシートへの記録及び管理基準に基づく、生乳生産の取組の確認と改善指導を行う ○迅速残留抗生物質検査キットを乳業者へ供給し、安全性の確保に努める	・DDAC・モノビス成分を由来とする殺菌・消毒剤の適正使用を遵守を重点指導した。 ・記帳用チェックシートを配布して、毎月の記帳状況の確認と記帳保管指導を実施した。 ・記帳用チェックシートを配布して、毎月の記帳状況の確認と記帳保管指導を実施した。 ・県内直送地区乳業者へ配布		概ね達成 達成 概ね達成 概ね達成 達成	生乳の生産・供給段階における安全性の確保した。 ・重点管理基準の記帳率100%を目指し、記帳していない組合員に対し、記帳の目的意識の啓発を引き続き行う。 ・重点管理基準の記帳率100%を目指し、記帳していない組合員に対し、記帳の目的意識の啓発を引き続き行う。 ・乳業者に迅速残留抗生物質検査キットを供給し安全性を確保した。	《総括》 広酪 広酪 広酪 広酪
6	<b>安全、安心で高品質なかきの提供</b> <b>18 健康被害の防止</b> ○自主検査等の実施による健康被害発生の確実な防止	・今漁期は貝毒の検査値を検出することなく（ND）毒化したかきの流通はなかった。		達成	自主検査実施8回（当初計画8回）	県漁連

【事業者の役割】

7項目

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関
		実績	達成率	達成度	
1	自主衛生管理の推進				
	01 自主衛生管理の推進 ○食品衛生にかかわる人材の養成及び資質の向上 《県食協》			概ね達成	
	《チェーンストア協会》	・食品衛生責任者養成講習会（34回1423人） ・食品衛生指導員養成（40人） ・食品衛生指導員の施設基準研修（345人） ・食品衛生大会参加（333人） ・表示推進者の育成（138人）		概ね達成	・食品衛生指導員が高齢化しており若手指導員の養成が急務となっている
	《チェーンストア協会》	・関係団体や行政が開催する食品衛生講習会への積極的な参加。社内研修会の実施。（年3回）		達成	・参加の義務化定着。
	《スーパーマーケット協会》	加盟各社は、法規に則り、必要な施設の食品衛生責任者の配置と補充を行うとともに県下で開催される食品衛生講習会に参加し食品衛生に関する人材育成と資質向上に取り組んでいる。		概ね達成	
	《生協ひろしま》	・職員研修（店舗、宅配）・新人研修、年次研修等をおして衛生教育を継続的に実施しています。		達成	・基礎衛生教育を継続し、食の安全・安心に関する取組みを含めて学習することによって食品衛生に対する意識をもつようすすめています。
	○HACCPの考え方に基づく衛生管理システムの推進 《県食協》				
	《チェーンストア協会》	・広島県自主食品食品自主衛生管理認証制度の普及に努めた。		概ね達成	・認証取得が難しいと理解する業者に施設改善・機会更新など経費をかけることを求めたものでないこと、取得により消費者の信頼を得られることなど制度の説明や普及を計画的に取り組む。
	《チェーンストア協会》	・各店作業場で、自主衛生管理システムによるチェックの実施。（月1回）	100%	達成	・各店舗の実施状況を報告書で確認。全店回収出来た。
	《スーパーマーケット協会》	《スーパーマーケット協会》 ・加盟各社で、それぞれの方法で、HACCPの考え方に基づく衛生管理システムを導入推進中。		概ね達成	
	《生協ひろしま》	・取引先との研修会、学習会をおしてHACCP・ISOシステムの導入を推奨しています。		達成	・今後も取引先を対象とした研修会ではHACCP、ISOの導入を推奨していきます。
					《総括》
					《県食協》
					《チェーンストア協会》
					《スーパーマーケット協会》
					《生協ひろしま》
					《県食協》
					《チェーンストア協会》
					《スーパーマーケット協会》
					《生協ひろしま》

【事業者の役割】

7項目

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関	
		実績	達成率	達成度		特記事項
	○製造・加工した食品の自主検査等の実施					
	《県食協》	・自主検査実施の啓発		概ね達成	・「かき」はシーズン中実施 ・製造・加工業者は自主的に一般細菌検査等概ね実施しており、更に今後も啓発する必要がある。	《県食協》
	《チェーンストア協会》	・年4回、外部委託により実施。		達成	・全店実施の確認、指摘店舗は改善実施。	《チェーンストア協会》
	《スーパーマーケット協会》	・アース環境等第三者による検査の実施（定期的な検査の実施と改善）		達成		《スーパーマーケット協会》
	《生協ひろしま》	・店舗での取り扱い商品、宅配の企画商品（流通品）の定期でのモニタリング検査を実施しています。		達成	・店舗商品で、宅配商品をリスク分析し微生物、理化学、残留農薬等の検査を実施しているいます。	《生協ひろしま》
2	記録の作成及び保存					
	02_記録の作成及び保存	・各事業者団体は、適正に実施した。 ・食品衛生協会は、会員への啓発を行った。		概ね達成		
	【製造・加工業者】 ○原材料の安全性の確保					
	《県食協》	・原材料の検品及び期限表示の確認。		達成		《県食協》
	《生協ひろしま》	・取扱商品は商品仕様書を取得し確認しています。		達成	・PB開発商品は特別管理原材料の供給元への監査を実施しています。	《生協ひろしま》
	○原材料の仕入先等に係る記録の作成・保存					
	《県食協》	・帳票類の整理及び保存。		達成		《県食協》
	《生協ひろしま》	・PB開発商品は産地・製造元に訪問し、製造管理状況等の記録の確認を行います。		達成	・取引の要件として製造記録帳票関係は必要事項としています。	《生協ひろしま》
	○製造・加工時における原材料等の使用記録 製造管理に関する記録の作成・保存					
	《県食協》	・広域流通する製造業加工業を対象に重点的実施		達成		《県食協》
	《生協ひろしま》	・PB開発商品はQC工程図に基づく記録の確認及び原材料はトレースバックできる記録帳票類の確認を行います。		達成	・取引の要件として製造記録帳票関係は必要事項としています。	《生協ひろしま》
	○食品表示の根拠書類の整備・保存					
	《県食協》	・表示を行なう営業所を中心に実施。		達成		《県食協》
	《生協ひろしま》	・原材料の規格書、栄養分析及び商品仕様書の確認を行います。		達成	・取引の要件として、必要な規格書等は取得することとしています。	《生協ひろしま》
	【流通・販売業者・飲食店業者】 ○販売・提供する製品の安全性の確保					
	《県食協》	・表示事項及び期限表示の確認		達成		《県食協》
	《チェーンストア協会》	・自社製造商品はカルテ（スペック）の作成、保存。アレルギー物質、使用添加物などが確認出来る。		達成	・カルテの不備改善のためソフトの導入	《チェーンストア協会》
	《スーパーマーケット協会》	・各社自社PCセンターで製造する食品の品質管理とアレルギー物質等の表示の徹底。		概ね達成	・商品劣化等のチェック体制。	《スーパーマーケット協会》
	《生協ひろしま》	・PB開発商品・産直品及びNB商品の品質確認のためにモニタリングでの商品検査を実施しています。		達成	・モニタリングによる商品検査を実施しています。	《生協ひろしま》

【事業者の役割】

7項目

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関
		実績	達成率	達成度	
	○製品の仕入れ先及び出荷先等に係る記録の作成・保存				
	《県食協》	・製品の流通ルートが分かる形で記録を保存。 ・製造・出荷・販売する食品の原材料についての各種情報を入手して記録として作成、保管している。		達成 達成	・管理体制、保管方法の体制確立。
	《チェーンストア協会》				
	《スーパーマーケット協会》	・酒、米穀等の仕入れ先等は、法規に基づき実施。又その他商品は、仕入れ情報の一部として記録、保存を実施。 ・商品納入数量は仕入れから販売までトレース可能なシステムとなっています。		概ね達成 達成	
	《生協ひろしま》				
	○食品表示の根拠書類の整備・保存				
	《県食協》	・表示付けが必要な営業種に於いて実施。 ・食品表示の根拠である仕入れ伝票を課別、商品別に決められた期間で保存出来ている。		達成 達成	・表示根拠書類は保管出来ている。
	《チェーンストア協会》				
《スーパーマーケット協会》	・仕入時に取引先に対し請求。 ・原材料の規格書、栄養分析及び商品仕様書の確認を行います。		概ね達成 達成	・入手した食品表示根拠書類の整理整頓 ・PB開発商品は根拠資料や商品検査で確認、NB商品は商品仕様書を確認しています。	
《生協ひろしま》					



【事業者の役割】

7項目

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関
		実績	達成率	達成度	
3	情報の提供				
	03_情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業者団体は、適正に実施した。</li> <li>食品衛生協会は、会員への啓発を行った。</li> </ul>		概ね達成	
	○流通販売業者や消費者からのアレルギーや残留農薬に関する問合せ等への適切な情報提供 《県食協》	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報は広報紙の発行により提供（20,000部）</li> <li>食品の適正表示推進者に対しフォローアップ講習会を通じ最新の情報を伝達（353名）</li> </ul>		達成	《県食協》
	《チェーンストア協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様からの問い合わせについての窓口を一本化し各部門に連絡が行くように整備、適切な情報を提供している。</li> </ul>		達成	《チェーンストア協会》
	《スーパーマーケット協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社 問い合わせ窓口を設け、責任者による適切な情報を提供する体制を整備中。</li> </ul>		概ね達成	《スーパーマーケット協会》
	《生協ひろしま》	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅配の媒体には義務表示を掲載。HPでも同様に表示しています（アレルギー表示等）。問い合わせがあれば迅速に対応しています。</li> </ul>		達成	《生協ひろしま》
	○情報提供体制の整備（お客様相談窓口、食品の適正表示推進者等の設置） 《県食協》	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の表示推進者の育成等により顧客対応が可能となる体制とした。</li> </ul>		概ね達成	《県食協》
	《チェーンストア協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様相談窓口を本社に、食品の適正表示推進者を各店で任命している。</li> </ul>		概ね達成	《チェーンストア協会》
	《スーパーマーケット協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社 問い合わせ窓口を設け、責任者による適切な情報を提供する体制を整備中。</li> </ul>		概ね達成	《スーパーマーケット協会》
	《生協ひろしま》	<ul style="list-style-type: none"> <li>組合員サービスセンターを設置し対応しています。宅配では配達時での組合員の声を収集、店舗では「あなたの声いかします」で声の集約を行います。</li> </ul>		達成	《生協ひろしま》
	○ホームページや広報紙を活用した食品の安全・安心に関する情報提供 《県食協》	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による情報提供（20,000部）</li> <li>食中毒予防月間啓発チラシ（20,000部）</li> <li>表示適正化推進月間啓発チラシ（5,000部）</li> </ul>		概ね達成	《県食協》
	《チェーンストア協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの開設、広報誌の発行により食品の安全・安心に関する情報を発信している。</li> </ul>		達成	《チェーンストア協会》
	《スーパーマーケット協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>加盟社各社のホームページ及び店舗にて提供推進</li> </ul>		概ね達成	《スーパーマーケット協会》
	《生協ひろしま》	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、組合員向け広報月刊誌「コープパレット」で食の安全安心情報（ちょこっとホントの話し）で情報提供を行っています。</li> </ul>		達成	《生協ひろしま》
	○食品の安全・安心に関する食品衛生講演会等の開催 《県食協》	<ul style="list-style-type: none"> <li>「食のセミナー」への参加</li> <li>食品衛生責任者等講習会</li> </ul>		概ね達成	《県食協》

【事業者の役割】

7項目

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関
		実績	達成率	達成度	
4	危機管理体制の整備				
	04_事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業者団体は、適正に実施した。</li> <li>食品衛生協会は、会員への啓発を行った。</li> </ul>		概ね達成	
	○食品事故等発生時における当該品の出荷停止、製品回収、再発防止、消費者への情報提供など必要な措置の速やかな実施				
	《県食協》	<ul style="list-style-type: none"> <li>県が定める食品の営業に関する管理運営の基準の中で、回収手順や消費者に対する注意喚起が規定されており周知徹底している。</li> </ul>		達成	《県食協》
	《チェーンストア協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理対応マニュアルを作成し対応している。新しく付け加える事項なども整備。今年度は模擬演習を実施する計画。</li> </ul>		概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理マニュアルの見直し、加筆の実施。</li> </ul>
	《スーパーマーケット協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者への速やかな告知と発生時の関係各社への連絡の徹底</li> </ul>		達成	
	《生協ひろしま》	<ul style="list-style-type: none"> <li>クライシス対応マニュアルを作成し、迅速に対応できるようにしています。</li> </ul>		達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の生協で商品苦情・お申し出情報を共有化し監視しています。また、訓練についてはこれから具体化する予定です。</li> </ul>
	○内部統制の強化、コンプライアンスの推進等による危機管理体制の見直し・強化				
	《県食協》	<ul style="list-style-type: none"> <li>法・取扱規則等改訂されるごとに迅速に情報提供し、食品衛生責任者を中心に従業員への周知を呼びかけている。</li> </ul>		達成	《県食協》
	《チェーンストア協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回コンプライアンス委員会を開催、内部統制状況の確認と危機管理体制の見直し・強化実施</li> </ul>		達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の定期化と月刊コンプライアンスの発行</li> </ul>
	《スーパーマーケット協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスの遵守とチェック体制の強化</li> </ul>		概ね達成	《スーパーマーケット協会》
	《生協ひろしま》	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部統制、マネジメントシステムを策定し危機管理体制の強化に努めています。</li> </ul>		達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>クライシス対応マニュアルの見直しを行っています。</li> </ul>
	05_食品関係団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業者団体は、適正に実施した。</li> <li>食品衛生協会は、会員への啓発を行った。</li> </ul>		概ね達成	
	○食品事故等に関する情報提供による類似事故の発生防止				
	《県食協》	<ul style="list-style-type: none"> <li>注意喚起する食中毒事故等は、支所を通じて食品衛生推進員及び指導員に情報提供している。</li> </ul>		達成	《県食協》
	《チェーンストア協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーンストア協会以外の他企業とも情報交換を実施、類似事故の発生を防止するよう取り組んでいる。</li> </ul>		達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題点の共有化実施</li> </ul>
	《スーパーマーケット協会》	<ul style="list-style-type: none"> <li>国、地方行政機関からの該当情報を、会員企業に配信。</li> </ul>		達成	《スーパーマーケット協会》
	《生協ひろしま》	<ul style="list-style-type: none"> <li>生協間ではお申し出・苦情システムを共有化し、再発防止策についてもできる限り水平展開できるように検討を進めています。</li> </ul>		達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の事故分析（原因、調査、対策）は今後も強化していく予定です。</li> </ul>



【事業者の役割】

7項目

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関
		実績	達成率	達成度	
5	消費者、生産者等との交流				
	06_消費者等との意見交換会の開催 56回	・意見交換会 169回	302%	達成	
	《県食協》 8回	・1回	13%	未達成	《県食協》
	《チェーンストア協会》10回	・各店舗で開催 10回	100%	達成	《チェーンストア協会》
	《スーパーマーケット協会》10回	10回 ・(公益法人)広島消費者協会主催総会&消費者月間の消費生活コンファレンスへの参加 ・広島県スーパーマーケット協会年次総会への消費者代表の招聘 ・行政・事業者・消費者の三者懇談会への参加 ・加盟各社が実施する消費者との交流イベント(食品工場見学)など	100%	達成	《スーパーマーケット協会》
	《生協ひろしま》20回	・130回 ・商品学習や産地見学、料理講習会など、130回開催し、3,250名の参加がありました。		達成	《生協ひろしま》 ・意見交換だけでなく、声の収集も積極的に行います。
6	適正な食品表示、品質表示				
	07_適正な食品表示、品質表示の推進	・各事業者団体は、適正に実施した。 ・食品衛生協会は、会員への啓発を行った。		概ね達成	
	○食品の仕入れ時における表示(原料原産地等)の確認				
	《県食協》	・製造・加工業にあってはアレルギー物質の確認や飲食店営業等にあっては期限表示の確認を行なっている。		概ね達成	・安全・安心については積極的に取り組むよう心掛けている。輸入食品が多いことも課題。
	《チェーンストア協会》	・仕入れ伝票、外箱からの伝達する仕組みの構築と、店頭表示について時間をとって確認して		達成	・本社仕入原料フォーマット変更。店舗仕入商品のマニュアル化定着。
	《スーパーマーケット協会》	・食品表示、登録時のチェック体制の強化 ・食品表示に関する検定試験の受講者数を増やす。		概ね達成	・間違いがあった場合の速やかな訂正と原因究明と再発防止の徹底。
	《生協ひろしま》	・PB開発商品・産直品については「取り決め事項」として管理し、根拠資料、伝票、帳票等で確認しています。また、特に管理が必要な原料は産地確認、現地監査を行っています。NB商品は商品仕様書で点検確認している。		達成	食品の表示については今回の表示改定に伴い、新しい表示方法等について検討をすすめています。
	○食品の販売時における適正表示の徹底				
	《県食協》	・表示推進者による確認と事業者責任により表示を行なっている。		概ね達成	
	《チェーンストア協会》	・食品の適正表示推進者育成講習会の参加とJAS法、食品衛生法、健康増進法の表示義務内容の研修会を実施して表示担当者を決め不適正表示を無くしている。		達成	・仕入伝票と販売商品の表示内容の確認徹底により、ミスの撲滅・原因追求により適正な表示を実現している。
	《スーパーマーケット協会》	・食品表示、登録時のチェック体制の強化 ・食品の適正表示推進者育成講習会への参加及び各種食品表示検定資格者の養成による適正表示の徹底		概ね達成	
	《生協ひろしま》	・媒体(カガク)については商品仕様書の確認後、表示基準に基づく表示を実施しています。		達成	・今後も継続して表示についてはわかりやすい表示に心がけてまいります。

平成26年度実施状況  
【消費者の役割】

1項目

項目	平成26年度目標	平成26年度実施状況			担当機関
		実績	達成率	達成度	
◆ 食品の安全・安心に関する正しい知識の習得と取組	《総括》				
	01 食品表示の適正化に向けた取組の推進			達成	
	○正しい知識習得のための取組及び食品安全推進リーダーの養成 (延べ5,000人/3年)	・会員団体のリーダー層を中心に加工品表示関連法令の基礎知識などに関する学習会を開催した。 ・商品学習や産地見学、料理講習会など、140回開催し、3,547名の参加がありました。		達成	
		・一般市民を対象に、「食の安全」をテーマに消費者大学講座を開催した。 ・農業を取り巻く情報交流などに参加した。 ・産地・工場の訪問や体験などを通じて、生産者・事業者との交流を深めた。 ・延べ3,089人が参加した。		達成	
	○店頭での表示確認 (延べ3,000件/3年)	・水産加工品とお弁当・惣菜について店頭表示が適正に行われているか点検した。2,000件		達成	
		・弁当・水産品について店頭表示が適正に行われているか点検した。197件		達成	

広島県消費者団体連絡協議会

公益社団法人広島消費者協会

広島県消費者団体連絡協議会

公益社団法人広島消費者協会